

緊急企画!

看護と介護の日本語教育研究会 第21回例会

第9回 看護と介護の日本語教師研修<オンライン実践報告会>

「コロナ禍における看護・介護の日本語教育の現状と課題」

日本では2017年から介護技能実習生の受け入れが始まり、さらに特定技能ビザに基づく受け入れが始まったところでした。しかし今春以降、世界を脅かす新型コロナウイルスにより、国境を越えた人の往来が制限される日々が続いています。そこで本研究会では、外国人看護・介護人材に対する日本語教育が、コロナ影響下の現在どのような状態にあり、どんな課題を抱えているのか、さまざまな現場からレポートいただくオンライン実践報告会を企画しました。プログラムには、小グループでお互いの実践や課題を共有する時間も設けています。どうぞ奮ってご参加ください。

日時: 2020年8月22日(土)

13:00 - 16:20 (ログイン開始12:30)

実施形態: ZOOMによるオンライン開催

プログラム:

13:00-13:20 【総会】

13:40-14:10 【講話】

「コロナ禍におけるJICWELSの取り組みと今後の展望」

植村康生氏 (公益社団法人国際厚生事業団/JICWELS)

14:30-15:30 【実践報告】

①EPA候補者に対するオンライン教育の試み

池田敦史氏 (AOI日本語学院)

②インドネシア送り出し機関における現状と課題

馬場ひとみ氏 (PT.OS Selnajaya Indonesia)

③ベトナム送り出し機関における現状と課題

マイ・アイン氏 (International Cooperation Service

Joint Stock Company(CICS))

15:40-16:15 【グループセッションと質疑応答】



緊急開催のため

参加費 無料

定員 270名

事前申込が必要です。

申込方法

下記URLまたはQRコードよりお申し込み下さい。

<https://www.kokuchpro.com/event/3bd8e15ffa7e7e5e25d60e17c2939a7a/>



申込期限

2020年8月18日(火)

主催

看護と介護の日本語教育研究会

お問い合わせ

kensyu.kangokaigo@gmail.com